

3Dプリンタ Markforged X7

—高強度樹脂材料を使用し、長繊維材料との複合造形で高剛性の造形が可能—

令和4年度機器整備事業にて公益財団法人JKA(競輪)の補助により、3Dプリンタを導入しました。三次元の設計データ(STL)をもとにして、立体モデルを出力する装置です。

3Dプリンタの特徴

- 高強度樹脂材料を使用し、レーザー測定機能による高精度な造形が可能
- 樹脂材料をベースに、長繊維材料[※]との複合造形で高剛性の造形が可能
- 最大造形サイズ：330×270×200mm (※特殊な加工となるため、職員にご相談ください。)

導入機器紹介

この装置は三次元の設計データ(STL)をもとにして、立体モデルを出力する装置で、330mm(W)×270mm(D)×200mm(H)のモデルを製作することができます。

導入した3Dプリンタの仕様として、ナイロン素材に短繊維カーボンファイバーを織り交ぜた高強度樹脂材料を使用した造形や、樹脂材料と長繊維材料との複合造形、レーザー測定機能による高精度な造形が可能になりました。

これからのものづくり産業では、3次元データを活用した製品開発は重要と考えられ、当センターでは3Dプリンタ等の機器貸付制度を含め積極的な支援を行っていきたくと考えております。

機器の概要

メーカー	Markforged社
機種名	Markforged X7
最大造形サイズ	330×270×200mm
積層ピッチ	0.1mm、0.2mm、0.125mm
ソフトウェア	Eiger-Cloud Based
入カフォーマット	STL

機器貸付料金

3Dプリンタ①(材料持込)	890円/時間
3Dプリンタ②(0.1mm)	1,160円/時間
3Dプリンタ③(0.2mm)	1,480円/時間
3Dプリンタ④(0.125mm)	1,250円/時間
3Dプリンタ⑤(カーボンファイバー)	1,450円/時間

R7.4.1～



本機器は公益財団法人JKA(競輪)の補助事業により導入しました。